

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 11 月 20 日

事業所名 てらびあぼけつと四日市西浦教室 保護者等数(児童数) 28 回収数 17 割合 60 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1	0	1	たくさん身体を動かして遊べて喜んでいきます	運動スペースの確保を念頭にレイアウトを留意いたします
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	1	0	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか	17	0	0	0	靴箱がその都度移動 されていたりいろいろと 考えてもらっていたのが よくわかりました	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動に 合わせた空間となっているか	16	0	0	1	消毒液がいろいろな場所に設置されて おり、手指消毒が習慣付けられて良いと 思います	手指に限らず、備品類の消毒も積極 的に行っています。
適切 な支 援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画*2が作 成されているか	15	0	0	2		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	14	0	0	3	実際に園に訪問していただき、打ち合わ せを行っていただけ良かったです	今後も要望に合わせ、出来る範囲で 対応していく予定です。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	16	0	0	1	送迎時に療育内容を説明して頂いてい るので何をやっているのか分かります	送迎時の保護者様との時間は今後も 大切に致します。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫 されているか	16	0	0	1		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	6	0	6	5		
保護 者へ の説 明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	17	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明がなさ れたか	17	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング*4等)が行われているか	11	3	3	1	子どもに対しての声掛けの仕方などを 教えていただけるとありがたいです	時間を取って お伝えするように していきます
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	17	0	0	0	ノートや送迎時に 詳しく説明をして くださるので助かります	記載内容がより分かりやすくなるよう 改善に努めます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	12	5	0	0		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	5	1	7	4		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や 申入れをした際に迅速かつ適切に対応され ているか	15	0	0	2	話がしたい時に時間を取って対応して頂 けて助かります。保護者間の話し合い の機会があると嬉しいです	ご要望に対してできる限り対応させ ていただきます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮がなされているか	17	0	0	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	11	0	1	6		
19 個人情報の取り扱いに十分注意されている か	14	1	0	1			
非常 時等	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、保護者に周 知・説明されているか。また、発生を想定し た訓練が実施されているか。	5	1	0	7		

の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	0	12	避難訓練がいつ行われているか分かりません	避難訓練結果について、エントランスへ掲示を行います。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	0	楽しみにしているので、安心して通わせられます	今後も楽しい教室でいられるよう、努力いたします。
	23	事業所の支援に満足しているか	16	1	0	0	自宅で出来ないことをやって頂いて有難いです	満足していただける支援内容を目指し、努力いたします。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年11月20日

事業所名 てらびあぼけつと四日市西浦教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースの大教室と、個室による個別療育を実施しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		屋内の段差は極力排除しています。 児童用ロッカーは一番目立つ場所に設置しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の終業後に玩具・アイテムはすべて清掃除菌を実施しています。	ケガなどに対する安全対策を進めつつ、換気・手指消毒の徹底を進めていきます
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の業務を振り返り、議事録を作成しています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者様の意向について、スタッフ全員で情報共有を行い、業務改善につなげていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		本部及び国・県の研修には積極的に参加しています	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		マニュアルに基づいたアセスメントシートを活用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		実施プログラムの確認を見発管が行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			プログラムの意義と理解を深め、支援に生かします。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			実施プログラムの検証会の実施を検討します
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼時に、申し入れ事項と前回記録の確認を行い、重要事項の抜け・漏れをなくす工夫を行います。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日夕礼で振り返りを行い、疑問点や気づきの情報共有を行っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録はすべて記録を取り、次回支援に生かせるようにしています。	より見やすい記録が作成できるよう改善していきます。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には児童発達管理者が必ず出席しています。		
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様からの要請に基づき、私立幼稚園での情報共有・相互理解の場を設けました。	他の幼稚園・保育園でも実施できるよう経験を積み重ね、準備を進めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	管理者・児発管から来所の勧誘、関係機関への訪問を常に行っています。	より密度の濃い情報共有が行えるよう、訪問頻度を増やす努力を行います
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		協議会等について問い合わせをして参加していきたいと思えます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回送迎時にその日の様子や出来たことを中心に、数分ですがお話の場を設けさせていただいています。	保護者様の希望や要請に応じられるよう、管理者・児発管を中心に相談の場を設けられるようにします。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			今までよりも積極的に家庭での支援についてのご説明を行うようにしていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		管理者より契約時にお時間をいただいて全てご説明させていただいています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様からの質問については必ずお受けするよう対応しています。	各スタッフによるアドバイスが適切に行えるよう、適宜情報共有を行います
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者同士のつながりが持てる場の提供を検討していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者様からの質問については必ずお受けするよう対応しています。	各スタッフによるアドバイスが適切に行えるよう、適宜情報共有を行います
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠できる書庫に目隠しをしたうえで保管しています	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域行事への参加は今後検討いたします
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			訓練実施記録、作成したマニュアルをエンタランスに掲示・陳列するようにします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		管轄消防と協力して年に2回訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		教室見学・契約時のアセスでヒアリングを行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットファイルを作成し、全スタッフで確認・共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		ハラスメント研修を実施しました	

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			
----	--	---	--	--	--